

171-0014東京都豊島区池袋4 - 17 - 10 土屋ビル4F

AA

日本ニューズレター No.103

## AAの伝統が生まれるまで ビル・W著

~このユニークな12の伝統が生まれるに至った

歴史的に注目すべき出来事を探って~

ビル・Wがグレープバイン誌に連載を依頼され、12の“条項”に説明文をつけたものと伝統との関係がかかれてあるパンフレットである。

ここからいくつかの部分を選抜して伝統についてその発生と必要性をお伝えするがあくまでもこれは一部であることをご承知願いたい。1997年に翻訳発行されたパンフレットで何か問題が起きたときにとても参考になると思う。どうぞ一度目を通してもらえれば幸いである。

恒久的な一体性がなければ、開放を求めてこれからわたしたちのところへやってくるはずの数多くのひとたちに、永続的な安堵感を与えることはできないことをわたしたちは決して忘れてはならない。

誰かがAAを発明したわけではない。発生したのである。試行錯誤をとおして豊かな経験が生み出された。そしてわたしたちはその経験からすこしずつ教訓を取り入れた。最初は方針として、それから伝統として。それはいまでも続いており、決して終わらないよう願っている。あまりにも堅くなりすぎると、その精神をそこなう表現になってしまう。こまごまとした規制や禁止文句をふりかざすと、結局は自分たちの首をしめることになる。決定的な言葉を吐いてしまったらどうなるか、想像がつかだろう。仲間のアルコールクに厳しい考えを強いて、従わなければ即刻出て行くよう言いわたすような状況が生まれかねない。そんなことで発展が損なわれることがないように願っている。

とはいっても、わたしたちの経験からとりだされた教訓はおおいにものを言う。ともに生き、ともに活動するうちに生じる問題については幅広い経験を何年にもわたって重ねてきた。もしわたしたちが、この試みに成功し、この方法がつかぬにうまく行くのであれば、その時には、そしてその時にこそ、わたしたちの未来は安全なのだといえる。

もはや不幸がわたしたちを結びつけているのではない。わたしたちの最も大きな関心事は今や“アルコールクス・アノニマスの未来”にかわった。たとえ個人的な弱さをもっていても、またこのやっかいな時代の緊張や争いのなかにあっても、わたしたちに共通した大目的が損なわれることがないほど強力な一体性 この一体性をわたしたちAAメンバーの間でどのように維持してゆくのかが関心事となったのである。AAが生き続けなければならないのはよくわかっている。でなければ、わたしたちも世界中にいるアルコールクもみな、ほとんど例外なく、絶望的な旅路をさまよひ、葬り去られることになるのだから。

グループの問題とは何なのかは、どのメンバーもよく承知している。基本的に、それはグループとグループとの、そしてグループと外部の社会との関わりのなかで起こるものである。さらにひとりのAAメンバーとそのグループとの関わり、

一つのグループとAA全体との関わり、そしてあらゆる人たちが挫折に向き合い、やすらぎの場所を求めているこの現代社会のなかでのAAの位置づけにおいても起こる。また、指導者、金銭、権力について絶えず生じる疑問にわたしたちがどう向き合うか、基本的にAAの枠組みをどのようにすべきなのかといった問題もある。これらの問題についてわたしたちがどう考え、どう行動するか、またこの社会との関わりをどう考えるかによって、わたしたちの未来は変わってくる。このように危険をはらんだ問題についてわたしたちが何を選ぶのか、最終の運命がその決定にかかっている。

いよいよ問題の核心に入った。それはこういうことである。いったいわたしたちは、みんなが関心を抱く上記のような問題について明快な方針を打ち出せるだけの経験をすでに重ねたと言えるのか。やがては大事な伝統へと、深い信頼と仲間に通ずる充足感によってAAメンバーの心の支えになる伝統へと育っていけるような共有できる原理を、果たして今宣言できるのか。それが問題だった。このような難題にすべてびたりと合う正解などあるはずはないだろうが、神の意志によって、わたしたちを時代や環境の猛威から守ってくれる伝統の骨子が見極められる地点にまでついにたどり着いたのは確かである。

古くからのAAの友人の強い勧めもあり、またメンバーの間でも今なら賛成の意見が得られるという気持ちもあり、思い切って「内外の関わりにつてのアルコールクス・アノニマスの伝統 わたしたちの未来を保証する12の条項」を文章にしたい。

こうしてAAの経験が教えるところによると：以下短いかたちと長文の伝統が続く。

・アルコールクス・アノニマスのメンバーとは

・病院とAA

・AAの中のクラブ AAはクラブと共存できるか

・AAを他の事業に結びつけることの危険

・金銭

・AAが個人支配を受ける時代はくるのか

・無名性

・アルコールクス・アノニマスはなぜアノニマスか

以上のタイトルでグレープバイン誌に掲載されたビル・Wの文章が紹介されている。

最初の文章に戻って

ひとりのアルコールクがわたしたちの回復のプログラムである12のステップをみずからの生活で実践するとき、その人の“崩壊”はとまり、“統一”がはじまる。その“統一”への“力”は、かつてはその人をばらばらに引き裂いた力をしのぐものである。

まったく同じ原理が各AAグループとAA全体にもあてはまる。わたしたちを結びつけるきずなが、隙があればいつでもわたしたちを分裂させようとする力よりもはるかに強力であるかぎり、すべてはうまくいく。ひとつの運動体であるわたしたちは安全であり、わたしたちにとって欠かせない一体性は確実なものとして残る。 「伝統が生まれるまで」より

## 第9回AA日本全国評議会開催のお知らせ

日程 2004年2月6日(金)～9日(日)  
 場所 川崎・晴海グランドホテル  
 テーマ「グループと評議会・全体サービスの棚卸  
 Part 2」

### 評議会スケジュール

2月6日  
 10:00～ 受け付け  
 10:30～12:00 評議会オリエンテーション  
 12:00～13:00 昼食  
 13:00～19:30 全体会議  
 運営手順の確認、常任理事会より報告と予算案  
 19:30～20:30 夕食  
 20:30～22:30 評議員会 それぞれの委員会との調整など  
 2月7日  
 07:00～08:00 朝食  
 09:00～12:00 評議会委員会  
 各担当委員会にて議題審議、検討。  
 12:00～13:00 昼食  
 13:00～15:00 評議会委員会  
 各担当委員会にて議題審議、検討。  
 15:15～15:45 WSM・AOSM報告  
 WSM評議員より報告  
 15:45～19:00 全体会議  
 地域の現状報告とディスカッション  
 19:00～20:30 夕食 (懇親会)  
 20:30～22:00 全体会議  
 各委員会からの報告を審議、採決など  
 2月8日  
 07:00～08:00 朝食  
 09:00～12:00 全体会議  
 各委員会からの報告を審議、採決など  
 12:00～13:00 昼食  
 13:00～15:00 全体会議  
 各委員会からの報告を審議、採決など

まだすべて確定したスケジュールではありませんが、毎年時間が足りないと言う声が聞こえてきます。限られた日程の中で効率の良い会議を進行する為にたくさんのボランティアが活躍しています。評議員も常任理事も「任されたしもべ」として、サービスの喜びの中で生き活きとこのハードスケジュールに取り組んでゆきます。

各地域から新しい評議員が選出されたとの報告が届いています。そこで、お願いと確認をさせていただきたいと思えます。

...

### 新評議員に選出されたみなさま

いよいよ師走、今年度で任期が終わる評議員、そして来年一緒に活動する評議員から、あなたへたくさんの経験や助言が分かち合われていることと思います。2年間という長いようで短い(過去の経験者は皆、異口同音に言われていたようですが)任期をどうぞ十分に活躍していただくこと、心から願うばかりでございます。

「それから、覚えておいてほしいのは、あなたが新参者だとしても、評議会の進行においてあなたは他の誰にも劣らない

重要な人物であるということです。あなたの声は、あなたの地域の良心を表すものです。自分の考えと疑問を(大きな声で、はっきりと)発言して、全体の利益のために分かち合うべきです」 サービスマニュアルより一部を抜粋して掲載  
 グループの(ゼネラル・サービス)代議員のみなさま  
 それぞれの地域集会で各グループの代議員が良心の付託者として選んだ評議員はとても重要な役割で責任を伴うものです。この責任は選ばれた評議員にももちろんあるのですが、最も責任を負わなければならないのは選んだ(グループの良心である)代議員それぞれであることを忘れないください。

### 後期評議員のみなさま

もう一つお願いがあります。もうすぐ任期の終わる評議員のみなさま、2年間御苦労様でした。どうぞサービスマニュアル79ページからの文章のように経験という財産をAAの様々なコミュニケーションの促進に役立てていただきますようお願いいたします。

最後にすべてのメンバーのみなさまにお願いいたします。評議会を身近なものとして感じてもらいたいのです。AAの逆三角形を思い出してください。一番上?にいるのはメンバー、グループです。この良心がそれぞれのグループ、地区、地域の代表者に委ねられて行き、その各地域評議員と常任理事会構成メンバーによって全国評議会が構成されています。AAの目的を達成するために私たちができることを、来年の2月の3日間、朝から夜遅くまで評議会構成メンバーは熱く討論し、そして方針を定めます。どうぞこの成り行きに注目してください。大切な献金がどのように使われているか、自分達の12ステップ活動にどのような手助けがなされているか、また30周年の集会の進捗状況は、国際協力の中でモンゴルとのスポンサーシップはどうなっているのか...エトセトラ。飲まない生き方の喜びと感謝をAAの共同体の一人として世界中220万人の仲間と共に感じていただければとても嬉しいこととございます。 草々

## A類常任理事を終えるにあたり

### 国立保健医療科学院 平野 かよ子

私は1999年から2期A類常任理事をさせていただきました。かれこれ20年前に保健所の保健師をしていた時に、アルコール依存症の方やご家族、そしてAAのミーティングに出会いました。そこで、人が病気をコントロールするとはどういうことなのかを考えさせられました。仲間同士が会える「場」が継続的に開かれること、そこで体験を正直に語ることで生み出される力の大きさに感動し、私自身どんなに支えられらことでしょうか。そのありがたさとすばらしさを保健従事者に伝えようと、約10年間参加できる時だけでしたがミーティングに参加させてもらいました。そんなことが縁で、理事のお話を頂いた時、どのくらいお役に立てるか定かではなかったのですが、喜んでさせていただきました。

この4年間に全国評議会では、全国に仲間がいて日々活動されていることを知り、また、地域により特色があり、困難さも違うことを教えて貰えました。その会議において、皆さんは議題一つ一つをとことん議論し、AAの伝統を尊び、誠実にどこまでも民主的に会議を運営される姿に感銘を受けました。また、AAは全世界に存在し、同じようにミーティングが持たれ、力と希望と勇気を得ていることを知りました。

AAが日本に導かれて30年、「もう30年もたったの!」という気持ちと「やっと30年か!」と思う気持ちです。大

切な年を迎えようとしているAAです。また、JSOはNPO法に基づくNPOへと、AAの伝統を守りながら新たな展開を行おうとしています。

これらの準備の大切な時期ですので、よりアルコール依存症の方々と日々接点を持ち、AAに日常的に触れ、経験豊かな理事にバトンタッチさせていただきました。理事は終わりますが、私にできることは今後ともお手伝いしたいと思います。私が大好きな言葉、「自分に変えられないものを受け入れる落ち着きを、変えられるものは変えていく勇気を、そしてこの2つのものを見わける賢さを お与え下さい」。これを皆さんと共に大切に、私に与えられた使命を果たして行きます。ありがとうございました。皆さんの回復を祈り続けます。

## 常任理事退任にあたって

議長・BOX916担当：木村

はじめに、4年という任期を何とか満了出来た事を、多くの仲間感謝いたします。

当初の2年は広報担当を、後半の2年は議長・BOX916担当を与えられました。

広報担当としては、AAの内外への広報とは何か？具体的には何をすればよいのか？を悩みながら試行錯誤を繰り返しました。最初に厳しい場面に立たされたのがホームページの管理運営でした。実は、理事就任と同時にパソコンが必須であると他の理事に言われ60歳の誕生日に決断し、就任日の前日（大晦日）に近くのパソコンショップへ買いにいきました。その決断がその後の理事活動の大きな道具として活躍してくれましたが、このホームページの管理運営に際しては必須の道具でありました。ホームページの管理運営をなさってくれた元理事との引継ぎをする間もなく急逝され、悲しむ間もなく近所に住む仲間の献身的な手助けで何とか閉鎖せずに継続できたことが強い印象としていまだに残っております。

AA内部への広報、と言うよりも全体サービスにたずさわることがどのようなものであり、それに参加することがいかに楽しくソーパーに役立つか、また、そもそも全体サービスとはどのようなことなのだという事について、全国の仲間と分かち合いをしようじゃないかといって企画された「AA日本全国サービスフォーラム」の第1回を担当させていただいたことも、その後の常任理事のあり方を考えさせていただく大きな経験でした。

また、ニューヨークのGSOから所長、国際担当をお迎えしてのサービスの分かち合いを複数回できたことは、大きな力を与えられたように思っている。

一方、AA外部への広報については、病院・施設担当理事との共管事項でもありました。

A類理事のご協力のもとに関係者の皆様を対象とした「広報、病院・施設フォーラム」を幾つか開催できたことは、今後の関係が良好な状態で推移するために役立ったのではないかと自負しております。また、アメリカからAAに精通した医療関係者をお招きしての「国際シンポジウム」、そしてアメリカ・カナダAAのA類理事であり高名な医学博士であるヴァリアント先生を迎えた「国際シンポジウム」を開催できたことも良かったと思っています。

後半の2年間は、ヴァリアント先生とアメリカ・カナダAAのB類理事アレックス・P氏を迎えての評議会、国際スポンサーシップのひとつの表れとしての韓国の仲間を迎えての評議会を実現できたことが強く印象に残っている。これからの

日本のAAのありかたへの試金石になればとの思いがある。

4年間を通しての想いを語れば、長くなってしまふ。もっと前のことから話したくなる。埼玉県の大宮市で日本AAの20周年記念集会と同時開催された「全国代議員集会」における『常任理事会を設置するか』というテーマが可決されたとき、私はその集会の書記を任されていた。物凄い熱気に包まれた集会であった。やっと、日本もアメリカ・カナダAAのサービス体系に近づいた。これで、形は整った。と思った。

それから10年、評議会書記、地区委員会メンバー、地域委員会メンバー、評議員といった役割を経ての常任理事4年で何をしたのか？と言われると（自分に尋ねると）一言では、答えが出ない。多分、形づくり 形式主義に陥っていたのかもしれない。必要なプロセスなのかもしれない。

JSOの法人化も既に法的手続きに移行している。評議会憲章も今度の評議会で結論を得なければなるまい。

経済状況が一段と不安定な中でのAAの活動は、一層厳しい状況に追い込まれるであろう。

しかし、原点に還って「いま苦しんでいる仲間へ愛の手をさしのべる」ことを忘れなければ、全てが救われるのではなかるうか？

長年、ありがとうございました。

## アメリカの評議員レポートより

**コーヒーポットがキッチンテーブルの上で湯気を立て、病院が打ちのめされた者を解毒し、オフィスがメッセージを広報する。私たちのサービスの命綱は7つの海に渡る。これら全てがAAでの行動を象徴する。なぜなら行動はAAの魔法の言葉だからだ。そしてあらゆるサービスはいわゆる「物的な活動」が素晴らしい霊的な結果をもたらすことを日々証明している。**

The Language of The Heart (グレープバイン社発行), P131より

「行動」とは本当に魔法の言葉です。行動を通して私たちは素晴らしい霊的な結果を得ることができます。それは神の恩寵を通してのみ可能となった飲まないで生きることと現在の豊かで素晴らしい人生に対する私の深い感謝の念を表す最良の方法の一つです。

私はつながったばかりの頃はミーティングに行き、イスの片づけのお手伝いや、灰皿を洗うなど飲まないで生きるために最小限のことしかしようとしませんでした。私はそうしなければいけないと思ったからやっていました。しかししばらく経つうちに本当にそれらをするのが喜びとなってきました。以前のように「頂きっぱなし」ではなく、小さいですが何かのかたちで貢献することができるのであり、グループの一員なのだという感じをもらうことができるようになったからです。

グループの仲間は私が信頼に足り、ソブラエティの基礎が安定してきたようだと感じると、私にグループでの役割を与えてくれました。私は本をそろえる役を仰せつかりました。やったー！役割だ！始め私はその役割をすごく真剣にやりました。グレープバインを扇状に広げ、パンフレットはテーブルにアルファベット順に並べました。(OK、僕はまだ健康じゃなかった...)その新しい役割に浮かれていたのがさめた頃、

私は自分の役割に値する評価を受けていないのだからと、ある晩ミーティングをさぼり本をそろえませんでした。次の朝、電話が鳴りました。それはスポンサーからでした。その晩、ビッグブックが必要な仲間がいたのですが、それを持っていたのは私だったのです。彼は単刀直入に言いました。「役割を“やらない”と言うことよりなお悪いただ一つのことは“やる”と言っておきながら実際にやらないことだ。君は君を選んでくれた仲間と君を必要としていた新しい仲間を裏切ったんだ。」私の自己中心的なエゴは粉砕されましたが、私の姿勢は変えられました。後に代議員になった時、「ただ行く気がしない」ということで地域集会に行かなかったことがありましたが、その時もまた同じ事をスポンサーから言われました。

11月はよく「感謝の月間」とであると言われます。そのことについて近頃黙想したとき、ここ数年光栄にもやらせて頂くことができたいくつかの役割について考えがきました。義務や責任ではなく感謝の念が私の原動力でした。それぞれの役割で学ぶことの方が私が貢献したより多かったです。AAで役割をやるときそれは私の命を救ってくれたこの値札のついていない共同体に対する私の感謝の念を表すもっともシンプルな方法です。この感謝の月をハイパーパワーと私たち自身に向けてAAへの献身を新たにすることに使いましょう。

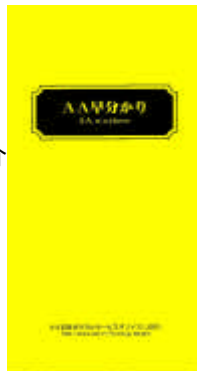
感謝のうちにサービスをするダグ・G

評議員が地域委員会へ毎月送るレポートより許可を得て翻訳転載

## 出版情報

・新リーフレット『AA早分かり』  
(A4三つ折り1部25円)

専門家など関係者へ、AAを簡単に紹介するリーフレットです。



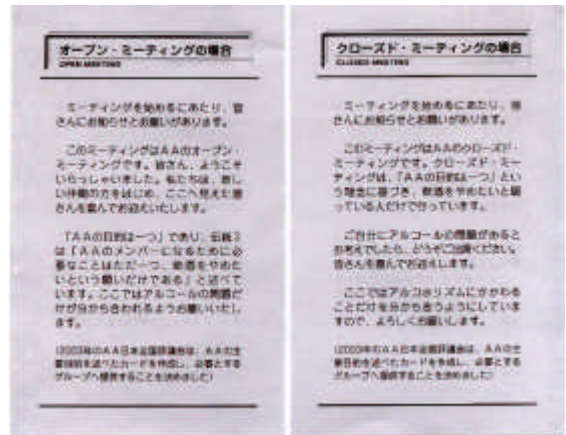
・新リーフレット  
『10代の若者たちへ』  
(A4三つ折り1部30円)

高等学校でのAA紹介、若者へのメッセージ用などに使えます。飲酒の問題は年齢に関係なく起こることが簡単に説明されており、もし12個の質問で問題があることに気づいたら、助けを求めよう提案しています。

・新カード『オープン・ミーティングとクロ  
ーズド・ミーティング』

(1部25円)

アメリカ、カナダではブルーカードと呼ばれているものに相当。ミーティングの始まる前にその日の司会者が参加者にお願いするものです。



速報！ 関西サービスフォーラムの日程・場所が決まりました。

## 第5回全国サービスフォーラム in 関西 「サービスの扉を開こう！」

2004.4.24 ~ 25. 新大阪 大阪コロナホテル 大阪市東淀川区西淡路1-3-21  
24日午前10時より...25日午後5時まで

宿泊定員は100名ですが、交通至便の地なので大阪市内からの参加も可能です。

参加費用は実行委員会にて検討中ですが参加費、宿泊・食事を含めて10,000円以内を考えています。

実行委員会のお知らせ

12月28日(日) 2004年1月25日(日) 午後1時から関西セントラルオフィス(KCO)にて行います

大阪市西区南堀江 2-3-24 MC南堀江メゾン 801

TEL 06-6536-0828 FAX 06-6536-0833

## AA日本ニュースレターNo. 103

編集・発行：AA日本ゼネラルサービスオフィス(JSO) 〒171-0014東京都豊島区池袋4-17-10土屋ビル4F

TEL:03-3590-5377 FAX:03-3590-5419 ホームページ：<http://www.cam.hi-ho.ne.jp/aa-jso/>